

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (3-2)

団体名	しんぐうNext	代表者名	(職名) 会長	(氏名) 石井 靖敏
事業名	『Next Seeds プロジェクト』 しんぐう みらい研究室 ～協働・共創社会の実現と新たなまちのカタチから未来を創造する～			

< 事業実施実績 >

年月日 定例は「月1回」 「毎〇曜日」等 で記入	場所	参加者 一般(スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
5/6/26(月)	新宮公民館	4名(1名)	新宮地区役員と四者会談(今年度の打ち合わせ)
5/7/20(木)	新宮公民館	8名(2名)	新宮地区まちづくり協議会準備検討委員会 今年度の取り組みを確認。昨年度のアンケート結果からどんな課題があって、どれが最重要課題か協議。旧高校跡地や役場跡地について進めることになった。
5/9/5(火)	新宮公民館	8名(2名)	(1) 令和5年度、優先して取り組むべき項目について 自治会提案：旧新宮高校跡地及び旧役場跡地について たつの市や兵庫県に嘆願書を作成する方向で進める。 時期や内容について (2) その他の取り組みについて 未来を創る：定住・移住、空き家について(商工会など) 教育：不登校児童への対策や支援を考える。(PTAなど) 福祉：地域課題(買い物支援・見守り)について考える。 (社協・龍野北高) にぎわい：地域のにぎわいについて考える (リエゾン、小嵐会、消防団など)
5/9/25(月)	龍野城下町古民家 ホテル 『Kurasu』	12名(2名)	懇話会準備委員会。 たつの市の観光とまちづくりについて考える会を開催。興味関心のある方をお呼びし、意見交換。年度内にもう一度開催する事を決定。
5/9/26(火)	龍野北高校	18名(2名)	みらいサロンの開催。高校生と地域住民、たつの市福祉課や社協をつなぎ、話し合いの場を作る。テーマ『地域福祉について考える』買い物難民や移動支援についてどう感じるか?をみんなで話し合った。
5/11/2(木)	新宮公民館	8名(2名)	新宮地区連絡協議会に改名。旧新宮高校跡地と旧新宮役場跡地について行政の関係各所に要望書を提出し、住民との意見交換を進めていく事をお願いする。その為に住民の皆さんに理解を得る為、文書を作成して、地域団体などに確認にて頂き、意見や同意を得るよう進めていく事で一致した。

5/12/18 (月)	龍野北高校	11名(2名)	みらいサロンの開催。2回目の高校生と地域住民との対話の場。同じくたつの市福祉課や社協をつなぎ、話し合いの場を作る。前回より時間を多くとり、高校生の意見をより多く引き出す会にした。高校生たちが地域の為にできる事、したい事を教えてもらう。
月一回	光都プラザ	8名(1名)	コープ×まなB'sテクノ×Nextで光都の未来を考える会を定期開催。今年度は、光都のコープが撤退の危機をどう乗り切るか？を考える。
6/2/21	志んぐ荘	32名(8名)	『たつのDE懇話会』の開催。 第一部：『ジモスタラリーワークショップ』[18時～20時] ～地元民が共創でつくる観光スタンプラリー～ ファシリテーター：最上 元樹(もがみ げんき) 株式会社フューチャーセッションズ 【イノベーションプロデューサー】 第二部：『たつのDE懇話会』[20時～21時半] ワークショップで出たアイデアやその他たつの市の【観光】や【まちづくり】について意見交換。
6/2/23 (金)	新宮ふれあい福祉会館	10名(3名)	『子育て支援メッセ』のイベント内で、みらい サロンの開催。『若者の結婚感と子育て支援について』をテーマに実施。

<効果と成果>

『まちづくり協議会』を作るということを目標に活動していますが、様々な組織や団体が存在するまちのカタチの中で、皆さんに理解して頂き、同じ方向を向いてもらうことはなかなか難しい試みであり、かなり時間がかかることだと気づきました。ただ、これはある程度想定内であり、あまり無理に進めすぎず、丁寧な説明と情報の開示や提供が必要だと感じています。その上で、連絡協議会として組織の目的を変更し、皆さんに情報の共有をしていくながら、地域課題の解決に向けて少しずつできる事を実施していく事で住民の皆さんに理解と共感をいただけるように尽力していきたいと考える。

同時に、ミッションテーマごと(協働と共創、未来を創る、賑わいを作る(集いの場、観光など)、健康と福祉の充実、教育環境を整える)に事業を展開していく事でそれぞれの分野で協働が生まれ、アプローチが可能になったことは大きな成果となりました。今後もそれぞれのテーマで取り組みの内容を作りこみながら、少しずつでも課題を改善していけるような動きをしていきたい。

<今後の展望>

自治組織については、連絡協議会としてまちの課題を少しずつ明らかにしてみなさんと情報の共有を進めていきます。そのなかで一つずつできる事を各テーマごとの協働のチームで取り組んで行く様に整えていきたいと考えています。特に、今年度、【まちづくりと観光】をテーマに『たつのDE懇話会』を開催しました。参加者の多くが「今後も続けてほしい」「いい刺激をもらえた」「新しいアイデアが湧ききっかけになった」と嬉しい感想を沢山いただきました。これからもテーマを変えながら毎年恒例事業として継続し、さらに輪を広げていけるような仕組みにしていきたい。その上で西播磨地域全体をみんなの力で盛り上げていけるような、そんなカタチに醸成していきたいと考えている。同時に、若い世代の協力をもっと増やしていけるように、若者の意見を聞いたり、声掛けや活動参加がしやすいような努力を今後も続けていながら、地域全体の共感や期待を得られるよう進めていきたい。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	279,000
自己資金	1,529
合計	280,529

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経 費	会場使用料	73,000	73,000
	委託費	66,000	66,000
	講師謝金	50,000	50,000
	その他 (交通費等)	78,775	77,246
	小 計	267,775	266,246
間接経費 (一般管理費)		12,754	12,754
合 計		280,529	279,000